

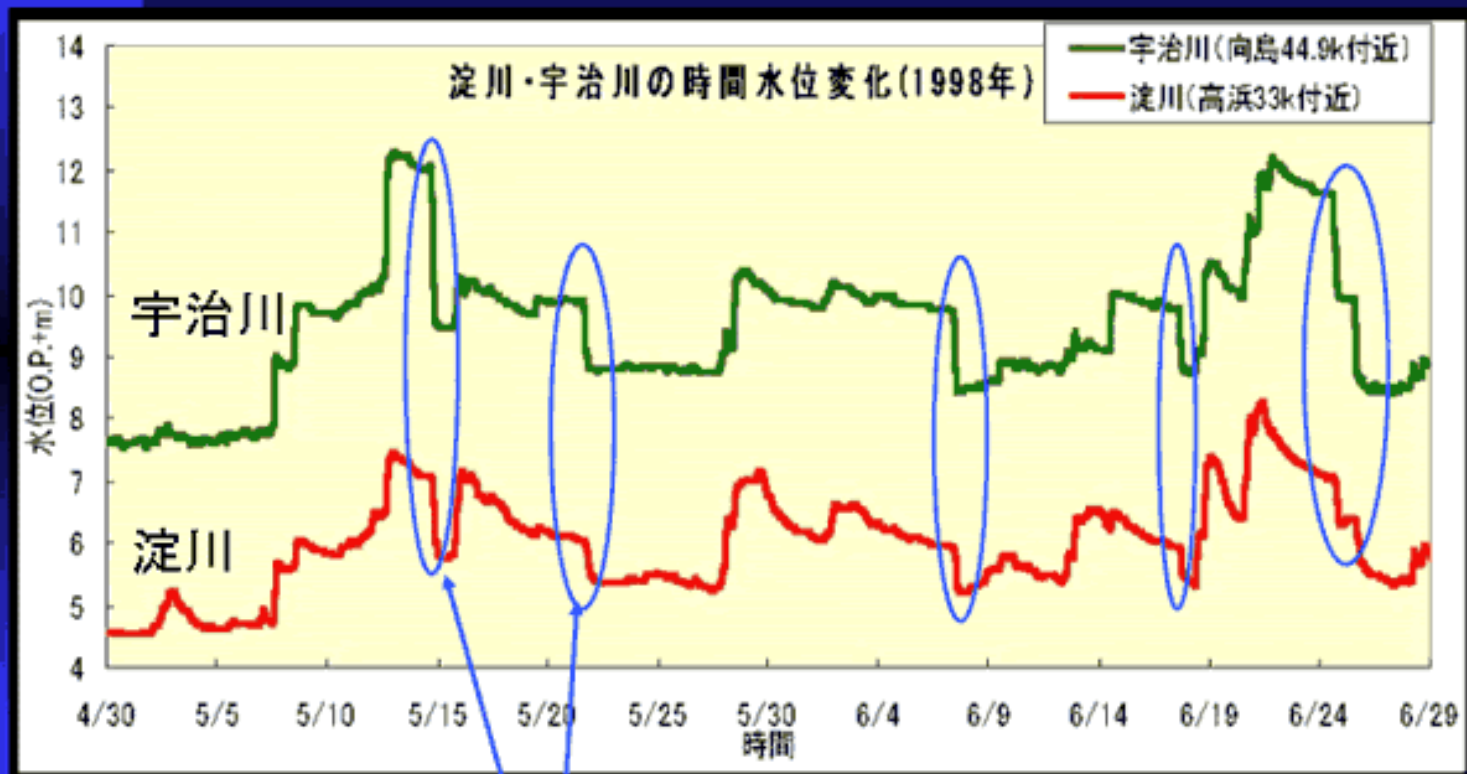
# ダム

(既設ダム)

各ダムで下記事項について、継続実施・検討をおこなう

- 下流に急激な水位低下が生じないダムの運用操作の実施
- 魚類等の遡上・降下に配慮した構造改善の検討
- ダム貯水池の法面における裸地対策の試験施工の実施

# 下流に急激な水位低下が生じないダム運用 操作の実施



増水後の水位が急低下

## 楠葉地区砂州における魚類の逃げ遅れ





# ダムに設置された魚道(青野ダム(兵庫県))

上流部



中流部



下流部



## ダムの管理水位により生ずる課題

ダム湖内の  
裸地



裸地対策を  
高山ダム、一庫ダム  
で実施

# 高山ダムでの事例

## 現状の課題

貯水池法面の裸地



## 対 策

- ・ 貯水池法面の緑化
- ・ 水位変動幅の減少



## 見直しの視点

- 見直しに当たっては、住民の社会的合意を得るための情報公開と説明を行うとともに、関係団体、自治体、他省庁との連携を図る。
- 治水、利水面からダム効用は大きい。しかし水没を伴い、河川環境を大きく改変することも事実である。
- 他に経済的にも実行可能で有効な方法がない場合において、ダム建設に伴う社会環境、自然環境への影響について、その軽減策も含め、他の河川事業にもまして、より慎重に検討した上で、妥当と判断される場合に実施する。



淀川水系の特性に鑑み、特に次の事項について留意する。

- ・琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響
- ・狭窄部等の開削は当面実施しないことによる狭窄部上流部の当面の浸水被害軽減
- ・近年頻発している渇水に対する安全度の確保
- ・既存ダム群の再編成

狭窄部等の開削を当面実施しないことによる狭窄部上流部の当面の浸水被害軽減

